



道づくりだより



157
2022.2-3



道の駅「ごいせ仁摩」(大田市)
1月29日オープン

— Contents —

- | | | |
|---|--------------------|----------|
| 1. 大田市に 道の駅『ごいせ仁摩』がオープンしました！ | 道路維持課 | ... P. 1 |
| 2. 松江市中心部～八雲町間のアクセスが向上！
国道432号大庭バイパス開通 | 道路建設課
松江県土整備事務所 | ... 2 |
| 3. はまだ中央農道が全線開通しました！！ | 農地整備課 | ... 4 |
| 4. 令和3年発生の林道施設災害について | 森林整備課 | ... 5 |
| 5. 浜田自動車道（大朝IC～旭IC間）が
4車線化整備候補箇所に選定されました | 高速道路推進課 | ... 7 |

大田市に 道の駅

「ごいせ仁摩」



がオープンしました！

このたび、大田市仁摩町に県内29番目となる道の駅「ごいせ仁摩」が新たにオープンしましたのでご紹介します。

道の駅概要

- 路 線 名：主要地方道仁摩邑南線
- 所 在 地：大田市仁摩町大国42番地1
山陰道「仁摩・石見銀山IC」下りてすぐ
- 開 業 日：令和4年1月29日（土）
- 施設概要：
 - ＜道路施設＞
 - 休憩・情報発信コーナー、
トイレ、授乳室、駐車場
 - ＜地域振興施設＞
 - 観光案内所、物販コーナー、レストラン、
屋根付きイベントスペース、賑わい広場、
芝生広場、ドッグラン、RVパーク、
トイレ、駐車場、EV充電設備
- 営業時間：
 - 物販・カフェコーナー/9:00～18:00
 - レストラン/11:00～17:00
 - RVパーク（要予約）/
チェックイン15:00、チェックアウト10:00
 - 観光案内所/9:00～17:00
 - ※定休日/火曜（祝日の場合は営業）、元日
 - ※トイレ、休憩・情報コーナーは年中無休
24時間開館

位置図・写真



道の駅の特徴

道の駅「ごいせ仁摩」は、山陰道「仁摩・石見銀山IC」出入り口の正面に位置し、世界遺産「石見銀山」、世界最大の砂時計のある「仁摩サンドミュージアム」へのアクセスも良好な立地です。「ごいせ」はこの地域の方言で「いらっしゃいませ」を意味しており、本道の駅は、石見銀山をはじめ、仁摩サンドミュージアム、国立公園「三瓶山」など、大田市の観光スポットを満喫する拠点となっています。

また、海の幸、山の幸の両方が揃う物産コーナーや、地元食材を楽しめるレストラン、天然芝のドッグラン、第71回全国植樹祭のお野立所を移築したイベントステージ、中四国エリアの道の駅で初の本格的な設備のRVパークなどを備え、大田市の特産や魅力に出会えるスポットとして楽しめる道の駅となっています。

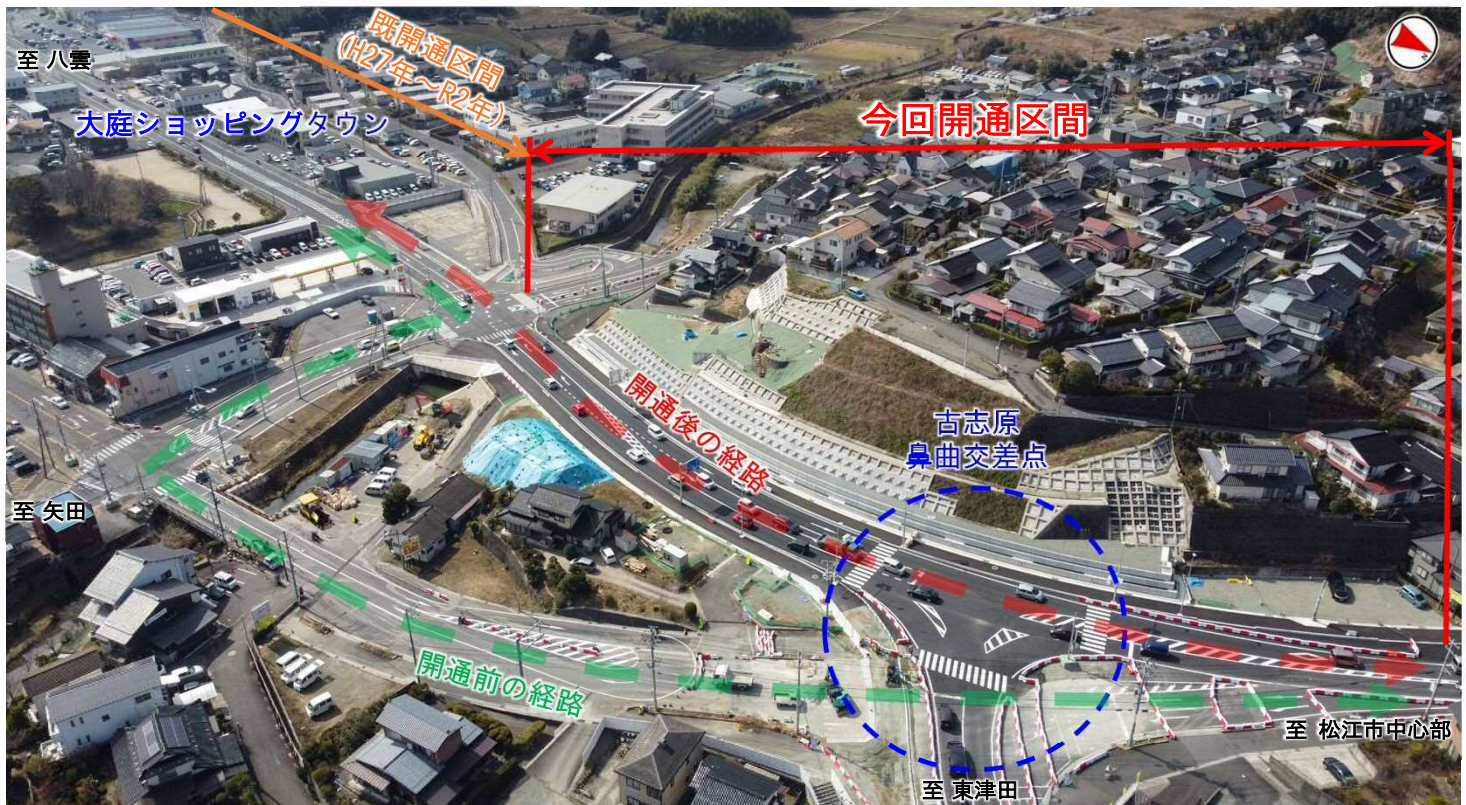
令和4年1月16日
開通！！

松江市中心部～八雲町間のアクセスが向上！ (国道432号大庭バイパス開通)

大庭ショッピングタウンから古志原鼻曲交差点の間は、これまで暫定的な形での通行となっておりますが、このたびこの間が真っ直ぐ繋がりました。

期待される効果

- ・松江市中心部と八雲町間のアクセスが向上し日常生活の利便性UP！！
- ・渋滞緩和や現道の交通量減少による歩行者・自転車の安全性向上！！



位置図



開通前後の道路形態



南北の流れが
スムーズに！

国道432号道路改良事業（大庭バイパスについて）

一般国道432号は、広島県竹原市を起点とし、奥出雲町、安来市広瀬町を經由し、松江市に至る骨格幹線道路です。このうち本事業区間は、松江市中心部と八雲町を連絡し、地域間交流や沿線の日常生活を支える重要な区間となっていますが、一日12,000台の交通量があり、朝夕の通勤時には交通渋滞が発生し、通行の支障となっていました。

また、事業箇所周辺には小中学校や高校が立地しており、歩行者・自転車ともに多くの通行がありますが、歩道が未整備のため危険な状態となっていました。

このため、沿線で実施される土地区画整理事業と連携したバイパス整備を行うこととし、両側に自転車歩行車道を設けるとともに電線共同溝の整備も行い、円滑な自動車交通の確保、安全安心な自転車・歩行者通行環境の整備、緊急輸送道路としての機能強化を図ることを目的に事業を進めています。

今後は、残る団原交差点から南側の区間について、引き続き事業推進に努めていきます。

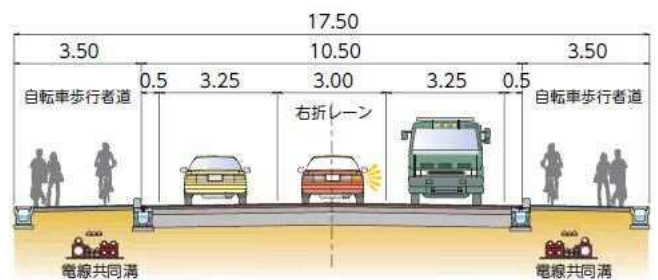
大庭バイパス計画平面図



大庭バイパス計画平面図

標準断面図

箇所：松江市大草町～古志原地内
延長：L=1,900m
期間：平成23年度～
道路規格：第4種第1級 設計速度50km/h
幅員構成：車道3.25m×2車線
自転車歩行者道3.5m（両側）



整備前の状況

歩行者と車両が混在し、大変危険な状況



特に朝夕の通勤時間帯に慢性的な渋滞発生



はまだ中央農道が全線開通しました！！

はまだ中央農道は、浜田市内田町の主要地方道浜田美都線と三階町を結ぶ全長3,175mの農道で平成20年度から事業を進めてきましたが、令和3年11月に全線開通し、現地で開通式がありました。この農道の開通により、農産物の輸送時間の短縮はもとより、災害時の迂回路確保、生活環境の改善や新たな地域間の交流などが期待されます。



令和3年11月18日（木）、砂川副市長をはじめ関係者約30名が出席のもとはまだ中央農道の開通式が行われテープカットをして開通を祝い、通り初めをしました。



令和3年発生 of 林道施設災害について

島根県の令和3年林道施設災害は、7月4日から13日にかけての梅雨前線豪雨により県東部を中心に、8月8日から9日にかけての台風9号及び8月12日から18日にかけての豪雨により県西部・隠岐を中心に、合計221路線1,111箇所、約34億2千万円の記録的な被害になりました。これらの災害のうち、国庫補助の林道施設災害復旧事業の採択が可能な箇所は、災害査定を受け、3ヶ年以内に復旧することとなります。本稿では、被害状況と合わせて、災害発生直後のトピックスを紹介します。

1. 市町村別・災害別の林道施設被害

市町村	梅雨前線豪雨災害 (令和3年7月4日～13日)			台風9号災害 (令和3年8月8日～9日)			8月豪雨災害 (令和3年8月12日～18日)			令和3年災害合計		
	路線数	箇所数	被害額 (千円)	路線数	箇所数	被害額 (千円)	路線数	箇所数	被害額 (千円)	路線数	箇所数	被害額 (千円)
松江市	8	32	208,530				2	2	780	10	34	209,310
安来市										0	0	0
雲南市	10	103	335,400				1	2	5,200	11	105	340,600
奥出雲町	4	8	19,000				1	1	8,000	5	9	27,000
飯南町	15	93	320,300							15	93	320,300
出雲市	29	137	634,000							29	137	634,000
大田市	3	31	30,000							3	31	30,000
川本町										0	0	0
邑南町	12	31	21,920	13	31	22,970	17	58	122,340	42	120	167,230
美郷町	4	28	54,000							4	28	54,000
江津市				2	2	780	3	3	48,000	5	5	48,780
浜田市	4	4	7,800				21	52	325,650	25	56	333,450
益田市							8	31	16,900	8	31	16,900
津和野町				4	4	1,200	6	14	221,400	10	18	222,600
吉賀町							1	10	30,800	1	10	30,800
隠岐の島町				5	26	98,540	35	278	586,400	40	304	684,940
西ノ島町				4	99	220,900	4	4	1,000	8	103	221,900
海士町				2	2	600	3	25	82,100	5	27	82,700
知夫村										0	0	0
合計	89	467	1,630,950	30	164	344,990	102	480	1,448,570	221	1,111	3,424,510



法面の崩壊状況（飯南町）



路体の流出状況（出雲市）



法面の崩壊状況（松江市）

2. 支援協定に基づく被害調査

林道施設は原木生産のための重要なインフラですが、生活圏から遠いことや、崩壊で林道が寸断されることも多く、本年の一連の災害でも、災害発生後、多くの市町で林道施設の調査に手が回らない状況になっていました。

こうしたなか、島根県森林協会と島根県森林土木技術協会との「森林土木技術支援に関する協定」に基づき、特に被害の激しかった雲南市、出雲市、飯南町において、迅速に被害調査にあたってくださいました。



支援協定に基づく被害調査の様子

3. 応急工事による孤立集落の解消

7月豪雨により林道が寸断され、出雲市と美郷町で2つの集落が孤立状態になりました。いずれも地元建設業者の協力によって応急工事が行われ、速やかに交通が回復しました。



被災直後（美郷町）



応急工事中



応急工事完了

4. 県有林内の林道施設災害

7月豪雨により県有林内の林道12路線、51箇所が被災しました。特に島根県民の森のなかの林道については、林業の用に供するだけでなく、森林セラピーをはじめとする憩いやレクリエーション利用の入込客があり、県有林管理スタッフ直営で早々に崩土の除去が行われました。被災した林道の本復旧は災害査定を受け、年度内に工事着手の予定です。



県有林管理スタッフ直営による崩土除去

5. 地すべりによる大規模被災

8月豪雨により津和野町の林道沿いの山腹で、幅40m・斜面長75mの地すべり災害が発生しました。被害額は約2億5千万円で、地すべり活動が終息後、上部を治山事業で、下部を林道事業で復旧します。



地すべり末端部の押し出し



地すべり頭部の滑落崖

6. 隠岐地方の連年災害

昨年の災害復旧の途上にある隠岐地方は、8月豪雨により2年連続で大きな災害に見舞われました。本土の災害の影響もあり、県内の林道施設災害では初めてとなる簡素化査定の適用を受けることになりました。



路肩の崩壊状況（海士町）



令和2年災の現場にあった重機転倒

7. 今後の復旧に向けて

災害査定を終えた林道施設は、公共土木施設や農地・農業用施設など、他の災害と調整を図りながら復旧工事を進めていくことになります。

令和3年は、近年の災害とは桁違いに多数の林道施設災害が発生しました。早期復旧に向けて各市町や関係機関と連携し、全力で取り組んで参ります。

浜田自動車道（大朝 I C～旭 I C間）が 4車線化整備候補箇所を選定されました。

高速道路の暫定2車線区間の4車線化を計画的に推進するため、国土交通省は令和元年9月に「高速道路における安全・安心基本計画」を策定しています。

この中で優先的に整備する区間として優先整備区間（全国で約880km、島根県内では約69km）が選定されており、概ね10～15年でこの区間の暫定2車線を解消するとされています。

また、令和3年度より実施されている防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策において、暫定2車線区間の4車線化が対象事業に拡充され、5年後の優先整備区間の事業着手率を現状の13%から47%にするとの達成目標が示されています。

こうした中、今年度、山陰道【安来道路】（米子西 I C～安来 I C間）が県内で初めて事業化されたことに続き、本年3月4日に浜田自動車道（大朝 I C～旭 I C間26.6kmの内、約11.2km）について、4車線化整備の候補箇所選ばれたことが国土交通省から発表されました。

今後、国の社会資本整備審議会・道路分科会で4車線化整備の妥当性が審議された後、了承されれば、高速道路会社へ事業許可が行われる見込みです。



4車線化候補箇所位置図